

10月8日　の海外相場								
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)
	Open	4,195.0		61.785		1,719.4		1,169.5
	High	4,197.8		61.845		1,722.4		1,176.0
	Low	4,091.2		59.230		1,616.0		1,115.0
	Settlement	4,140.7		60.294		1,649.8		1,127.0
	Change	-46.4		-1.295		-59.5		-47.4
EFP		22.00	24.00	¢ 20.00	¢ 25.00	3.00	8.00	-5.00　0.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
		AM　　　　　PM
	Gold	4,120.35　　4,124.55
	Silver	58.850　　-
	Platinum	1,664.85　　1,643.85
	Palladium	1,137.30　　1,124.75

コメント

Precious Metal

金：上昇　銀：下落　プラチナ：上昇　パラジウム：上昇

貴金属市場は反発した。前日まで売りが続いていたことから買い戻しが優勢となった。背景には米長期金利の低下とドル高の一服がある。米30年債入札では旺盛な需要が確認され、30年債利回りは5.67%から5.60%近辺まで低下した。10年債利回りも5.22%まで低下し、これが金市場の支援材料となった。また、中国の大型連休明けに実需筋の買いが入ったとの見方も相場を下支えた。原油市場では、ホルムズ海峡周辺での船舶攻撃の増加やハリケーンによる供給懸念を背景に買いが優勢となった。一方で、トランプ大統領が中間選挙前のイラン攻撃を否定したことから、引けにかけては上昇幅を縮小した。市場では買い戻しが優勢となったものの、依然として高金利環境や追加利上げ観測が引き続き上値を抑えている。

FX

ドル円：下落　ユーロドル：上昇

為替市場ではドル円が下落した。序盤は原油高や中東情勢を背景にドル買いが先行したものの、その後は米長期金利の低下やトランプ大統領によるイラン攻撃見送り発言を受けてドル買いが後退した。ドル円は158.37円まで上昇した後、157.52円まで下落し、最終的には157円台後半で取引を終えた。ユーロドルはドル高の一服を受けて底堅く推移した。

米国では新規失業保険申請件数が発表されたが、サプライズ感のない数字であったことからマーケットへのインパクトはほとんど見られなかった。市場の関心は経済指標よりも原油価格や長期金利、FRBの金融政策に向いている。

ドル円：157.88　ユーロドル：1.1211

10月5日　週の経済指標一覧								
	10/05 (月)		10/06 (火)		10/07 (水)		10/08 (木)	
Americas	米・ISM非製造業景気指数 09月		米・貿易収支 08月		米・FOMC議事録 09月		米・ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値) 10月	
	前	55.4　予　55.0	前	-886億ドル　予　-1020億ドル	前		前	48.1　予　47.7
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
APAC	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
EMEA	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	
	前		前		前		前	

Source: みんかふ

COMEX/NYMEX 投機的建玉				
2026/9/29	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	29.4	302.3	1,713.1	912.3
Short	5.0	107.5	866.2	1,396.6
Net	24.4	194.8	846.9	-484.3
Change	-1.2	-25.5	-158.5	-164.5

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。